

## 冒頭コメント

まず、お手元に配付しています資料について御説明します。

地元だから一番先に言うわけではないのですが、戸次のほうちょうが文化庁の「100年フード」に選ばれました。県内では4番目、大分市では初めてとなります。

ほうちょうは、小麦粉を練って長く伸ばしものをゆでて、つけ麺のようにして食べるというものです。

約450年前に、大友宗麟がアワビの腸が好きだったということで、それに代わるものとして、ほうちょうが作られたと言われています。また、戸次のほうちょう作りは市指定の無形民俗文化財となっています。

今後は特製のロゴマークの使用が可能になるとともに、文化庁が全国に向け情報発信を行って、認定団体の活動が取り上げられる機会も多くなると思いますので、皆さんも御承知おきください。

次は、大分市LINE公式アカウントの機能追加です。

3月18日から、市民の皆さんが手軽に情報提供でき、画像や位置情報を送信できる機能を公式LINEに追加しました。項目については、道路や河川、公園の異常、そのほか市に対する情報提供の4項目です。これによって、迅速な対応が可能となりますし、市民の利便性が上がると思います。

利用方法については、トーク画面のメニューから「市に連絡する」をタップし、メッセージの案内に沿って、道路、河川、公園といった対象を選択し、損傷箇所の写真や位置情報を送信することができるというものです。

まず、市公式LINEと友だちになっていただいて、御利用をお願いしたいと思います。他市では実施しているところもありますし、これで迅速な対応ができると思っています。

次に、特別職の人事と4月1日付人事異動についてです。来年度は就任2年目になりますが、様々な計画を策定しなければなりません。大分市総合計画が一番ですが、一つ一つ大事な計画策定になっていますので、それに取り組んでいきたいと思っています。

まず、副市長の選任については、3月31日をもって任期が満了します久渡副市長の後任として、新たに清水久子氏を起用することとしました。女性の副市長は本市では初めてです。これまで、和歌山県企画部企画政策局情報政策課長を務めたほか、総務省総合通信基盤局電気通信事業部の事業政策課ブロードバンド整備推進室長や、消費者行政第二課企画官などの要職を歴任されており、情報通信分野に優れた識見を有している方です。

特に本市では、「（仮称）大分市DX推進計画」の策定を進めています。全庁的なデジタルトランスフォーメーションの推進を図るため、CIO（最高情報責任者）として、各部局における業務のデジタル化を推進して、市民の利便性の向上、行政事務の効率化に尽力していただきたいと思います。

市教育長の任命については、3月31日をもって退任いたします佐藤教育長の後任として、新

たに栗井明彦氏を起用することとしました。栗井氏につきましては、大分市出身で、文部省に入省後、千葉県香取市教育委員会教育長や世田谷区教育委員会教育監の要職を歴任して、今は大阪府堺市の教育委員会教育長を務めている方です。教育行政に優れた識見を有しており、しかも経験が豊富です。今後は、その手腕を本市教育のさらなる充実のために発揮していただきたいと思います。

特に、「大分市教育ビジョン2017」が令和6年度に任期満了の節目を迎えますので、これまでの取組の進捗状況を踏まえて、次世代に向けた教育の一層の振興を図るため尽力していただきたいと考えています。

そして、4月1日付の人事異動についてですが、今回の人事異動については、去年から私が公約で掲げている、「ひとを守る」「ひとを育む」「ひとを支える」「ひとを豊かに」「ひとを元気に」の実現に向けた各種施策を進めていくことに重点を置いた人員配置としています。

異動規模は全体で1,389名、去年は1,467名ですので若干少ないという状況です。

部長ポストについては、総務部長をはじめ、財務部長、商工労働観光部長、農林水産部長、議会事務局長、監査事務局長、消防局長、上下水道部長の8部局長が退職もしくは役降りすることから、16部署のうち9部署に新たな部局長を起用しています。

今回の人員配置については、返還免除型奨学資金事業や大分市にこにこ保育支援事業などの少子化対策をはじめ、医療と介護のネットワーク事業、救急安心センター事業（＃7119）などの福祉保健施策、新環境センターの建設や脱炭素社会実現に向けた環境施策のほか、7月から本市で5競技が開催される全国高等学校総合体育大会など、文化・芸術・スポーツの振興に関して重点的な人員配置としているところであり、市の重要課題とされるその他の案件につきましても、その解決を可能とする人員配置としています。

加えて、国の機関との連絡調整をはじめ、観光、シティプロモーションなども担当する東京事務所の機能強化として、職員の増員を行うとともに、大阪・関西万博の開催を見据え、関西圏との観光分野における連携の強化を図るために、公益財団法人大阪観光局に本市職員を派遣することとしています。

また、住民サービスの向上と庁内事務の効率化を一層進めていくために、今回就任する先ほど申し上げました清水副市長をCIO（最高情報責任者）、そして企画部長をCIO補佐官とした庁内体制を図る中で、部次長級職員からDX統括担当を選任して各部局に配置します。

さらに、女性職員につきましては、部長級1名、次長級4名、課長級3名、参事級10名を新たに登用しました。参事級以上の管理職に占める女性職員の割合は19.5%、過去最高となっています。

新年度からはこの体制で臨んでいきたいと思います。

次は、花火大会の名称決定についてです。2月1日から募集していましたが、299点の応募があり、3月25日に開催した第4回実行委員会で名称が決まりました。決定した名称は「おおいた『夢』花火」、今年は「2024」がつきます。また、今年の打ち上げ開始時刻は午後7時30分からで、この時期の日没が午後6時40分ぐらいですので、この時間としました。

## 1. 発表項目

### 《1. 大分市立大在東小学校が開校します》

まずは、大分市立大在東小学校の開校についてです。

大在地区は人口がかなり増加しており、今後も増える見通しですので、大在中学校区に分離新設校として大在東小学校を開校します。金池小学校と同じように、体育館に空調設備を整備するとともに、校舎1階に放課後児童育成クラブを併設しています。また、学校北側にある大在東グラウンドは天然芝のサッカーグラウンドとして整備しています。

事業手法は、デザインビルドー設計施工一括発注方式で、令和3年12月に事業契約を締結し、令和4年10月から校舎等の建設工事に着手して、本年2月末に完成しました。なお、総工費は約47億円です。

また、4月19日には関係者をお招きして、大在東小学校の開校式を開催いたします。

施設の詳細について若干説明します。

児童数は、現時点で613名の予定です。学級数は、特別支援学級8学級を含む28学級を予定しています。建物の構造・階層は鉄筋コンクリート造の地上4階建てです。

施設の特色としては、非常用発電機を整備しており、避難所となる体育館や保健室等に、停電時においても72時間程度の電気の供給が可能となるものです。また、2階のトイレの一部にジェンダーフリートイレを5基設置しています。

今後のスケジュールは、資料に記載のとおり、4月8日に始業式、4月11日に入学式、4月19日午前10時から開校式を行います。

### 《2. 磨崖仏の3Dモデルを大分市のデジタルアーカイブで公開します》

次は、磨崖仏の3Dモデルを大分市のデジタルアーカイブで公開しますということで、大分県は磨崖仏が多いところとして有名ですが、風化や浸食が課題となっています。磨崖仏の現状を3Dモデルで記録し、ウェブ上で公開することで観光や地域振興、さらには学術研究など様々な場面での活用や、多くの人に郷土遺産である磨崖仏の魅力が伝わることを期待しています。

対象の磨崖仏はいずれも市を代表する文化財で、国指定の大分元町石仏や高瀬石仏、県指定の曲石仏、岩屋寺石仏、口戸磨崖仏、市指定の伽藍石仏の6件です。

これらの3Dモデルは、ウェブサイト大分市デジタルアーカイブ内のスペシャルコンテンツ「磨崖仏を訪ねる」から閲覧できます。私も拝見しましたが、非常に高度な精細画像で作られた3Dモデルは、現地でも確認することが困難な角度、例えば、横や後ろの角度から仏像の穏やかな表情や色彩などを確認できます。磨崖仏の魅力の発見につながるとともに、現地に赴くきっかけになればと思っています。なお、磨崖仏の3Dモデルをウェブ上で公開するのは県内で初めてです。会見終了後、担当課がモニターを使って説明を行います。非常に素晴らしいものだと思います。

最後に、今後の大分市デジタルアーカイブの予定ですが、令和6年度は、高精細ウェブギャラリーで公開している御城下絵図に加えて、地域に残る大型の絵馬、絵巻物、古地図などのコンテンツの追加を予定しています。

大分市デジタルアーカイブは昨年6月に公開しましたけれども、一月当たり2,000件程度のアクセスをいただいています。引き続きコンテンツの充実を図って、本市の貴重な文化資源の魅力をより多くの人に伝えていきたいと考えています。

## 2 質疑応答

### 《冒頭コメント 人事異動について》

記 者 初の女性副市長となる清水氏は、総務省時代を含め、具体的にどのようなことに携わってこられたのですか。また、どのようなことを期待しているのか聞かせてください。

市 長 まず、先ほどブロードバンド整備推進室長だったという話をしましたが、和歌山県に出身しているときも、当時はまだ基礎的な部分が多いですが、デジタル化に関する業務に携わられていたと聞いています。そして、総務省が行っているデジタル田園都市構想における自治体システムの標準化にも関わっていらっしゃいますし、直近は行政評価の分野だと思いますが、行政評価というのは、行政評価委員会が衆参ありますけれども、そのもとの資料を作成するようなところで、あらゆる分野にわたって行政評価を行っているところですので、全分野に通じていると私は思っています。

それから、何を期待するかということですが、もちろんC I Oとしてデジタル化、それに関連して、医療情報ネットワークにしても、あるいは、様々な子育て施策の申込みや障害者手帳の交付につながるような申請などもデジタル化されていくと思います。相当な分野で広がりを持っていますし、これが本庁だけではなくて支所も対応できなければならないという状況ですから、もちろん肝はDXの推進ということになりますが、それはあらゆる分野に広がっていくのではなかろうかと思います。

記 者 大分市初の女性副市長ということですが、これはデジタル化を推進するために、複数の候補者の中から市長自身が女性を選んだのですか。

市 長 DXについては、本気で全庁を挙げてやらないといけない話で、私が今まで関わってきた医療や介護・福祉、行政の分野ほど遅れているという認識です。ここは本気でやらなければならないということで、昨年から総務省事務次官や大臣に「DXをトップリーダーとして引っ張ってくれる人を出していただきたい、できれば女性を」ということでお願いしていました。その人選が彼女になったということです。

### 《冒頭コメント 戸次のほうちょうについて》

記 者 戸次のほうちょうを、観光客などが食べられるところはあるのですか。

市 長 地元だから言うのですが、大野川合戦まつりや大南市場などのイベントで頑張ってお出しいただいています。イベント以外で常に販売しているというところは知りません。

記 者 お祝いの料理というわけでもないのですか。

市 長 お祝いというわけでもないです。ただ、もともと大友宗麟に献上したというか、代わりにこれをと勧めたわけですから、そういう意味ではおめでたいものかもしれませんが、お祝いの料理というわけではないです。

記 者 どこで食べられるのかという問い合わせにはちょっと難しいですか。

市 長 まずは、戸次地区や大南地区で行われるイベントには出店しているでしょうから、その会場にお越しく下さいというご案内になります。戸次鮑腸保存会の皆さんは、私よりも先輩の方が多いのですが、これを機に、どこかで常に提供できるようにしなければならいかなというプレッシャーを感じているようです。

## 《その他 道の駅たのうららについて》

記 者 3月議会で、道の駅たのうらの工期を延長する議案がありました。5月開業が目標だったと思いますが、オープンの日は立っているのですか。

市 長 経緯を整理すると、国が施工する屋外トイレ、水に関してはこの工事が大きいわけですが、この工期はもともと4月30日でした。そういう意味では変わっていないのです。昨年のことですが、国は4月中に完成すれば、5月にオープンできるだろうと思っていました。ところが、トイレができて、水が使えるようになってから、市が地域振興施設を造らなければならないし、運営シミュレーションも行わなければいけない。それには1か月半ぐらいかかります。

昨年8月に道の駅の認定が下りた時に調べたところ、認定が下りてから開駅するまでは大体半年で、一番長くて8か月です。だから、市からも「4月30日と言わず、3月中にお願いします」と言い続けてきました。8月に認定が出たので、私は少し楽観視し過ぎたかもしれないですが、3月中に完成するのだろうと思っていました。それだけ依頼もしてきましたし、向こうも努力すると言っていましたから。

ところが、工期は変わらなかったというのが実際です。国が施工する屋外トイレの工期は4月30日までで、同じく国が施工する駐車場が完成するのは5月中旬です。その後、市が地域振興施設を5月中に施工して、オープンに向けてスタッフの育成や商品の準備などをしなければならず、それに大体1か月ぐらいかかる見込みです。

そうすると、オープンは夏頃になって、認定から開駅まで11か月となります。私の反省としては、工事を前倒しでやってくれということを強く言うべきだったと反省していますが、国としては予定どおりという態度です。

ものは考えようですが、デスティネーションキャンペーンが終わって、約3週間で夏休みに入ります。その間に道の駅がオープンして、デスティネーションキャンペーンから夏休みにかけて何か続いているという感覚のほうが、言い訳になりますけれども、捉えようによってはよかったかもしれません。

記 者 デスティネーションキャンペーン後というか、6月末以降となるのでしょうか。

市 長 国の工事と市の工事があって、終わるのが5月いっぱいだろうと見込んでいます。それから準備にどれだけかかるかという話です。

あとは、オープニングイベントを行うとなると、開催は土日になって、梅雨の季節ですから、タイミングを見はからないといけないと思っています。

## 《冒頭コメント 大分市LINE公式アカウントの機能追加について》

記 者 LINE公式アカウントの機能追加について、このような機能を追加した経緯を教えてください。

市 長 大分県内では導入している自治体はありませんが、全国では増加傾向にあります。道路の穴ぼこなどは、職員もパトロールで回っていますが、いち早く気づくのは地域住民の方であり、それを送っていただければ、迅速な対応につながると思います。他都市の状況を見てもそのように思います。熊本市長の大西さんと話を去年したときも、これは非常にいいという話はしていました。

記 者 LINEを利用するということで、セキュリティ面での課題はなかったのですか。

市長 セキュリティーに関しては、デジタルである以上、あるいはネットワークでつながっている以上、大変申し訳ないですが、１００％安全とは言えません。利便性を考えて使ったほうがいいと判断して、途中で問題が生じた場合にはその都度対応していくしかない。私はそれがデジタルへの対応だと思っています。１００％安全にならない限り、使ってはいけないと主張される方々もいますが、それでは時代の流れに追いつかないと私は思います。